



3. 教育課程

全学共通科目について

「全学共通科目群」は、全学部で共通に開講する科目群であり、「共生」「健康・スポーツ」「キャリア」「外国語」「日本語」「人文」「社会」「自然」「日本文化」「情報」「ともいき実践教育」の区分で構成されています。

これらを通して、共生（ともいき）と勤儉誠実の考え方や、及び幅広い教養を身につけます。

有資格者の単位認定について

下記に掲げる資格を有する学生は、証明書を持参の上、履修登録開始日から履修登録確認・訂正最終日(16:30)までに教務課へ申し出てください。審議を経て、下記に準じた単位が認定されます。

授業科目名	単位数 (上限)	評価	認定基準
総合英語Ⅰ／総合英語Ⅱ／ 総合英語Ⅲ／ 英会話Ⅰ／英会話Ⅱ／英会話Ⅲ	2	認定	実用英語技能検定試験 2 級 TOEFL iBT 42 点以上 72 点未満 TOEIC L&R 550 点以上 785 点未満 TOEIC S&W 240 点以上 310 点未満
	4	認定	実用英語技能検定試験準 1 級 TOEFL iBT 72 点以上 95 点未満 TOEIC L&R 785 点以上 945 点未満 TOEIC S&W 310 点以上 360 点未満
	6	認定	実用英語技能検定試験 1 級 TOEFL iBT 95 点以上 TOEIC L&R 945 点以上 TOEIC S&W 360 点以上
中国語Ⅰ／中国語Ⅱ	2	認定	中国語検定試験 3 級以上
韓国語Ⅰ／韓国語Ⅱ	2	認定	韓国語能力試験 2 級以上
フランス語Ⅰ／フランス語Ⅱ	2	認定	実用フランス語技能検定試験 3 級以上
ポルトガル語Ⅰ／ポルトガル語Ⅱ	2	認定	外国語としてのポルトガル語検定試験 (APLE) 準初級以上 ブラジル教育省による外国人のためのポルト ガル語検定試験 (CELPE-Bras) 中級以上

- 注意
1. この制度の運用は内規により行います。
 2. 既に単位認定された科目についての申請は認めません。
 3. 英語部門は、既にこの制度による単位認定を受けた資格より上級の資格を取得した場合、再度申請することができます。ただし認定単位数の合計は上級の資格による単位数を上限とします。

心理学部科目について

基礎演習

基礎演習は、1年次に基礎演習Ⅰ・基礎演習Ⅱを、2年次に基礎演習Ⅲ・基礎演習Ⅳを履修するように構成されています。これらは、大学での学習全般および心理学の習得に必要な基礎的内容を学習する必修科目です。本学の理念である共生の精神を基盤とし、心理学への興味を高め、大学に必要なさまざまな学習スキルを修得するための基本的な学びを実践していきます。比較的少人数で編成されるゼミが学習の基本単位となります。

基礎演習Ⅰでは、4年間の大学生活の基礎を学ぶとともに、心理学の方法論の初歩を学びます。大学生活の基礎としては、本学名古屋キャンパスの施設紹介にはじまり、大学での勉強の仕方、特に、レポートや論文の書き方、情報検索の方法などについての基本を学習します。

基礎演習Ⅱでは、基礎演習Ⅰで身につけたことを基礎とし、レポート作成、文献検索、特にプレゼンテーションの方法をさらに深く学んでいきます。また、卒業後の進路についても、講演会などを開催し、心理学の学びの特色とともに将来の進路・キャリアについてもじっくり考えてもらいます。

基礎演習Ⅲ・基礎演習Ⅳでは、3年次からの総合演習への導入をおこないます。心理学に関するより専門的な文献を読んでいく演習が中心になります。また、3年次からの専門ゼミ（総合演習）の選択のために、各専門領域およびゼミについての紹介もあります。

基礎演習ⅠからⅣでは、各ゼミ単位の少人数で行われる学習のほかに学年全員が1つの教室に集まって学習する授業も設定されます。

総合演習

3年次から始まる総合演習は、各教員の専門分野を中心に指導を受ける科目です。各自興味のある課題について調査・研究し、ゼミで発表する過程を通じて卒業論文へと結実させていく重要な演習となります。卒業研究では、それまでの学習で培った総合的な能力を具体的に表現し確認する作業が課されます。

原則として各ゼミ10名程度で編成します。所属するゼミは選択できますが、総合演習Ⅰ・総合演習Ⅱ（3年次）と総合演習Ⅲ・総合演習Ⅳ（4年次）は同じゼミとなります。

その他の注意事項

出席、試験方法、評価方法などは科目担当者によって異なる場合があります。「シラバス」に記載されていますが、わからないときには必ず科目担当者または教務課に確認してください。

卒業要件

東海学園大学心理学部を卒業するためには、4年以上在学し、次の表に示す所定の単位数以上を修得しなければなりません。

▼心理学部心理学科（P120生）

科目群	授業科目区分	②各科目区分において卒業に必要な修得単位数	④各群において卒業に必要な修得単位数	③卒業に必要な修得単位数
全学共通科目群	ともいき人間教育	必修4単位	25単位以上	合計で108単位以上
	ともいき教養教育			
	ともいき実践教育			
	健康・スポーツ			
	キャリア	必修4単位		
	情報			
	外国語	必修6単位		
	日本語			
	人文			
	社会			
専門科目群	基礎科目		6単位以上	124単位以上
	基幹科目	必修14単位	26単位以上	
	展開応用科目	必修2単位	30単位以上	
演習科目群	必修16単位			

- ① 心理学部の教育課程は、全学共通科目群、専門科目群および演習科目群によって構成されています。科目群の中にはそれぞれ授業科目区分があり、さらにその区分の中に各科目が配置されています。
- ② 卒業するためには、上の表の②④③すべての単位数条件を満たす必要があります。修得が必要な科目の詳細については、開講科目一覧表で確認してください。
- ③ 1年間で履修登録できる単位の上限は49単位です。

標準修得単位数

各学年終了時まで修得することが望ましい単位数の目標は以下の通りです。

以下のものはあくまで目安ですから、この単位数に満たなくても次の学年に進むことはできます。ただし、第4学年終了時までには124単位以上が必要です。無理なく卒業できるように、各学年終了時にこの程度の単位数は修得するようにしてください。

第1学年終了時：35単位以上

第2学年終了時（2年間の合計）：70単位以上

第3学年終了時（3年間の合計）：100単位以上

第4学年終了時（4年間の合計）：最低124単位以上

*上記の数値は各学年終了時における標準修得単位数です。この数値以上の単位修得をめざしてください。

*卒業には、合計の単位数だけでなく、必修科目が取得されていること、各科目区分ごとに決められた単位数が満たされていることが条件になります。

（注）就職活動等で必要な卒業見込証明書は、第3学年終了時に90単位以上修得している学生に限り発行されます。

開講科目一覧表

《表の見方》 「形態」欄： L = 「講義」 P = 「実験」「実習」「実技」等 S = 「演習」

▼心理学部心理学科 (P120生)

授業科目区分	授業科目の名称	形態	開講年次	単位数			備考
				必修	選択	自由	
人ともい き 人間教育	共生人間論Ⅰ (ブッダと法然)	L	1	2			} 必修4単位
	共生人間論Ⅱ	L	3	2			
	共生人間論実習	P	2		1		
ともい き 教養教育	持続可能な社会 (SDGs) と共生	L	1		2		
	自然環境と共生	L	1		2		
	生物多様性と共生	L	1		2		
	多文化共生	L	2		2		
	市民社会と共生	L	3		2		
	国際事情と共生	L	3		2		
ともい き 実践教育	地域社会と共生 A	P	1		1		
	地域社会と共生 B	P	2		2		
	海外文化研修 A	P	1・2・3・4		1		
	海外文化研修 B	P	1・2・3・4		2		
	海外文化研修 C	P	1・2・3・4		4		
	海外文化研修 D	P	1・2・3・4		6		
健康・ スポ ーツ	健康と運動	L	1		2		
	スポーツ (バドミントン)	P	1		1		
	スポーツ (テニス)	P	1		1		
	スポーツ (バスケットボール)	P	1		1		
	スポーツ (バレーボール)	P					
	スポーツ (サッカー)	P					
	スポーツ (ソフトボール)	P					
	スポーツ (ゴルフ)	P					
	スポーツ (エアロビクス)	P					
	スポーツ (アクアビクス)	P					
キャリア	キャリアデザインⅠ	P	1	2			} 必修4単位
	キャリアデザインⅡ	P	1	2			
情報	情報リテラシー A	P	1		1		
	情報リテラシー B	P	1		1		
外 国 語	総合英語Ⅰ	L	1	1			} 必修6単位
	総合英語Ⅱ	L	1	1			
	総合英語Ⅲ	L	2	1			
	英会話Ⅰ	P	1	1			
	英会話Ⅱ	P	1	1			
	英会話Ⅲ	P	2	1			
	中国語Ⅰ	P	2		1		
	中国語Ⅱ	P	2		1		
	韓国語Ⅰ	P	2		1		
	韓国語Ⅱ	P	2		1		
	フランス語Ⅰ	P	2		1		
	フランス語Ⅱ	P	2		1		
ポルトガル語Ⅰ	P	2		1			

は非開講科目です。

授業科目区分		授業科目の名称	形態	開講年次	単位数			備考
					必修	選択	自由	
全 学 共 通 科 目 群	外国語	ポルトガル語Ⅱ	P	2		1		
		英語リーディング	P	3		1		
		英語ライティング	P	2		1		
		英語ディスカッション	P	3		1		
	日本語	日本語表現法A(音声)	P	1		2		
		日本語表現法B(文章)	P	1		2		
	人文	哲学の基礎	L	1		2		
		倫理学の基礎	L	3		2		
		心のメカニズム	L	1		2		
		日本の歴史	L	1		2		
		世界の歴史	L	1		2		
		日本の文学	L	1		2		
		外国の文学	L	2		2		
	社会	憲法と基本権	L	1		2		
		社会生活と法	L	2		2		
		暮らしと経済	L	1		2		
		現代社会と生活	L	1		2		
		社会福祉学の基礎	L	1		2		
	自然	生活と環境	L	1		2		
		生活と化学	L	1		2		
生命の科学		L	1		2			
数学入門		L	1		2			
日本文化	日本文化論	L	1		2			
	日本の文化(書道)	P	1		1			
	日本の文化(華道)	P	1		1			
	日本の文化(舞踊)	P	1		1			
	日本の文化(陶芸)	P	1		1			
専 門 科 目 群	基礎科目	自然科学の基礎知識	L	1		2	} 選択必修6単位以上	
		人文科学の基礎知識	L	1		2		
		社会科学の基礎知識	L	2		2		
		仕事の世界	L	2		2		
		生涯学習概論	L	2		2		
	基礎科目	心理学概論	L	1	2		} 必修14単位を含め 26単位以上	
		心理学研究法	L	1		2		
		心理学実験Ⅰ	P	2	2			
		心理学実験Ⅱ	P	2	2			
		実験心理学	L	2		2		
		知覚・認知心理学Ⅰ	L	2	2			
		知覚・認知心理学Ⅱ	L	2		2		
		発達心理学	L	1	2			
		教育心理学	L	2		2		
基礎科目	臨床心理学概論	L	1		2			
	感情・人格心理学Ⅰ	L	1		2			
	感情・人格心理学Ⅱ	L	2		2			
	社会・集団・家族心理学	L	1	2				

授業科目区分	授業科目の名称	形態	開講年次	単位数			備考
				必修	選択	自由	
専	基 幹 科 目	対人認知論	L	1		2	
		適応の心理学	L	3		2	
		学習・言語心理学	L	3		2	
		神経・生理心理学	L	3		2	
		公認心理師の職責	L	4		2	
		比較文化論	L	1		2	
		心理学統計法Ⅰ	L	1	2		
		心理学統計法Ⅱ	L	2		2	
		心理学統計法Ⅲ	L	2		2	
		心理学英文講読Ⅰ	L	1		2	
心理学英文講読Ⅱ	L	1		2			
門 科 目 群	展 開 応 用 科 目	コミュニケーション心理学	L	1		2	
		心理測定法	L	3		2	
		動物心理学	L	4		2	
		色彩心理学	L	4		2	
		教育・学校心理学	L	2		2	
		障害者・障害児心理学	L	2		2	
		生涯発達心理学	L	3		2	
		児童心理学	L	3		2	
		家族心理学	L	3		2	
		産業・組織心理学	L	2		2	
		環境心理学	L	3		2	
		応用心理学	L	3		2	
		文化心理学	L	4		2	
		心理的アセスメント	L	2		2	
		精神疾患とその治療	L	3		2	
		健康・医療心理学	L	3		2	
		福祉心理学	L	2		2	
		心理学的支援法	L	3		2	
		司法・犯罪心理学	L	3		2	
		群	科 目	調査法Ⅰ	L	2	2
調査法Ⅱ	P			2		2	
行動観察法	P			3		2	
面接法	P			3		2	
社会調査論	L			1		2	
調査演習Ⅰ	S			3		2	
調査演習Ⅱ	S			3		2	
ことばと認知	L			3		2	
論理と認知	L			4		2	
人体の構造と機能及び疾病	L			3		2	
関係行政論	L	3		2			
心理演習	S	4		2			
心理実習	P	4		2			

必修2単位を含め
30単位以上

授業科目区分		授業科目の名称				形態	開講年次	単位数			備考
								必修	選択	自由	
演習科目群	演習科目	基礎演習 I	S	1	2			} 必修 16 単位			
		基礎演習 II	S	1	2						
		基礎演習 III	S	2	2						
		基礎演習 IV	S	2	2						
		総合演習 I	S	3	2						
		総合演習 II	S	3	2						
		総合演習 III	S	4	2						
総合演習 IV	S	4	2								